

社会医学 / 法医学

3年(前期, 後期)

西村明儒・教授 / 医学科 感覚運動系病態医学講座 法医学分野

【授業目的】社会をより健全に維持していくためには、適正に法律が制定され、その法律が公正に運用、執行されねばならないが、その過程において法医学的判断、助言を必要とすることも少なくない。例えば、司法面における法医学鑑定などはその代表的なものであるが、行政面における監察医業務などの法医学活動も必要である。これらに必要な考え方の知識や技術を付与する。

【授業概要】社会医学としての法医学は、医学的解明、助言を必要とする法律上の案件、事項について、科学的で公正な医学的判断をくださることによって、個人の基本的な人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的とする医学である。

【授業方法】講義:板書, プリント, スライド, 演習:死亡診断(死体検案)書作成, 実習:血液型, 骨, 指紋, 法医解剖・死体検案:見学・補助(希望者)

【到達目標】

1. 死後経過時間の推定ができる。
2. 死因の種類を説明できる。
3. 死体検案の意義を説明できる。
4. 死体検案の内容を説明できる。
5. 死亡診断書・死体検案書が作成できる。
6. 血液型(赤血球型, 赤血球酵素型, 血清型など)の種類を説明できる。
7. 個人識別(指紋, 血液型, 性別, 年齢, 身長など)を説明できる。
8. 法医学的物体検査(血痕, 精液, 毛髪, 骨, 歯牙など)ができる。

【授業計画】

大項目	中項目	内容
1.	法医概論	法医学の概念(講義:1) 法医学の歴史, 医学における法医学の位置, 法医学の定義とその働き, 法医学の法律上の応用, 法医学鑑定
2~4.	法医各論	死体現象(講義:3) 死の定義と死の判定, 早期死体現象, 晩期死体現象, 異常死体現象, 死後経過時間の推定, 生活反応
5~7.	”	損傷(講義:3) 損傷一般, 鋭器損傷, 鈍器損傷, 銃器損傷, 損傷の自他為, 損傷死の死因
8~9.	”	頭部外傷(講義:2) 硬膜外, 硬膜下, クモ膜下出血, 脳挫傷, 脳浮腫などの頭部外傷に基づく病態と死因
10~11.	”	交通外傷(講義:2) 交通外傷の受傷機転, 特徴的外傷, 交通外傷と死因
12~14.	”	窒息(講義:3) 窒息の定義および分類, 窒息の経過および症状, 窒息死の死体所見, 窒息の生理と病理, 縊死, 絞死, 扼殺, 溺死, その他の機械的窒息

15-16.	”	異常環境下の障害(講義:2) 熱傷死, 焼死, 凍死, 飢餓死, 電気損傷, その他
17-18.	”	内因的急死(講義:2) 急性心臓死, 脳および脳膜の疾患による急死, 呼吸器系疾患にもとづく急死, 消化器系疾患にもとづく急死, その他の疾患にもとづく急死, 急死と体質異常
19.	”	新生児死(講義:1) 嬰兒殺に関する法律上の問題, 嬰兒死体についての鑑定事項, 嬰兒の発育程度, 生活能力, 新生児の生死産別, 生後の生存期間, 胎児又は新生児死亡の原因, 墜落産, 新生児または乳児の変死
20-22.	”	死亡診断書と死体検案書(講義:1)(演習:2) 死亡診断書と死体検案書の違い, 異常死体と死体検案書, 死亡診断書の作成上の注意
23.	”	血液型(講義:1) 血液型の基本, 赤血球型, 赤血球酵素型, 白血球型, 白血球酵素型, 血清型, HLA, DNA分析の原理・分析法, DNA多型, 親子鑑定一般
24-29.	”	物体検査(講義:2)(演習:4) 血痕検査, 精液検査, 骨の検査, 歯牙の検査
30-33.	”	個人識別(講義:2)(演習:2) 個人同定一般, 個人同定の要目
34-35.	”	法中毒学(講義:2) 毒物および中毒の一般, 毒物の検索, 鉍酸, 重金属塩類, シアン化水素, シアン化合物, 芳香族炭化水素, ニコチン, フグ毒, 眠剤, アルコール, 農薬中毒, 一酸化炭素

【成績評価】1. 総論・各論試験, 2. 各講義終了時のまとめ, 復習テスト(レポート形式)

【教科書】

- ◇特に指定している訳ではないが、以下の教科書・参考書がわかりやすい。
- ◇学生のための法医学(第5版)(久保真一他:南山堂)
- ◇エッセンシャル法医学(高取健彦編:医歯薬出版)

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217954>

【連絡先】

⇒西村明儒(633-7076)

【備考】担当者は西村教授以外に、徳永逸夫准教授である。